



議会だより

2016.11
Vol. 52

ふじかわぐちこ



- 副議長就任あいさつ 2P
- 委員会構成 3P
- こういうことを決めました 4P
- 代表質問 8P
- 一般質問 10P
- 委員会レポート 12P
- 交流訪問報告 16P
- 窓・編集後記 18P

表紙写真:富士ヶ嶺地区秋季大運動会

第3回定例議会最終日の9月21日に、議会内の役員改選が行われ、副議長に渡辺武則議員が選任されました。

◆副議長就任あいさつ

富士河口湖町議会 副議長
渡辺 武則

この度、九月定例議会において議員のみなさまのご推举により、副議長の要職に付かせて頂くことになりました。大変身に余る光栄であり、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。

議会人としてまだまだ途上の身ではございますが、議長の補佐役として公平で公正無私を身上に、円滑な議会運営に務めてまいる所存でございますので、何卒よろしくお願ひ致します。

当町においても、少子高齢化対策、弱者支援、防災・減災対策、過疎・辺地の格差是正等、課題は山積しています。町民の安心、安全をまでは確保し、地域の特色を生かした観光立町づくりと、課題克服に微力ではございますが、全力で取り組んでまいります。

町民のみなさまには、今後とも変わらぬご指導と、ご協力を頂けますようお願い申し上げまして、わたくしの副議長就任のご挨拶と致します。

足和田災害復興50周年記念碑除幕式



議会の委員会構成が変わりました

9月の定例議会で改選が行われ、委員会などの委員が新しくなりました。

◎委員長 ◎副委員長

2016年9月21日現在

【議 長】 梶原 武		【副議長】 渡辺 武則						
総務常任委員会委員	◎堀内 昭登 梶原 武	○山下 利夫 井出 総一	渡辺 武則 渡辺 元春	井出 正広 三浦 康夫	佐藤 安子 倉沢 鶴義			
文教社会常任委員会委員	◎倉沢 鶴義 渡辺 美雄	○佐藤 安子 山下 利夫	外川 満 外川 正純	渡辺 正己 高山 泰治	渡辺 武則			
産経土木常任委員会委員	◎中野 貴民 渡辺 元春	○駒谷 隆利 外川 正純	外川 満 三浦 康夫	渡辺 美雄	小佐野 快			
議会運営委員会委員	○井出 総一 渡辺 元春	○外川 正純 駒谷 隆利	井出 正広 倉沢 鶴義	中野 貴民	堀内 昭登			
監査委員	小佐野 快							
富士五湖広域行政事務組合議會議員	外川 満	中野 貴民	外川 正純	三浦 康夫				
山梨県後期高齢者医療広域連合議會議員	高山 泰治							
船津財産区管理会委員	井出 正広	井出 総一						
富士河口湖町 河口湖治水委員会委員	外川 満 渡辺 元春	渡辺 美雄 三浦 康夫	小佐野 快 高山 泰治	堀内 昭登 駒谷 隆利	井出 総一 倉沢 鶴義			
富士河口湖町 水道運営審議会委員	渡辺 正己 梶原 武	渡辺 美雄 井出 総一	中野 貴民 渡辺 元春	山下 利夫 外川 正純	小佐野 快			
富士河口湖町消防委員会	外川 満	渡辺 武則	渡辺 元春	高山 泰治				
富士河口湖町都市計画審議会委員	外川 満	渡辺 美雄	高山 泰治	倉沢 鶴義				
富士河口湖町国民健康保険運営協議会委員	渡辺 正己	渡辺 美雄	中野 貴民	佐藤 安子	渡辺 元春			
富士河口湖町介護保険運営協議会委員	山下 利夫	佐藤 安子	小佐野 快					
富士河口湖町地下水保全審議会委員	渡辺 美雄	三浦 康夫						
富士河口湖町温泉事業運営審議会委員	渡辺 正己	渡辺 武則	渡辺 元春					
河口湖簡易水道事業運営審議会委員	外川 満	堀内 昭登	高山 泰治					
富士河口湖町公共下水道審議会委員	井出 正広	佐藤 安子	小佐野 快	渡辺 元春	三浦 康夫			
山梨赤十字病院運営協議会委員	渡辺 武則	井出 総一	外川 正純	三浦 康夫	倉沢 鶴義			
議会改革推進特別委員会	○外川 正純	○小佐野 快						

会計決算を審議



平成28年第3回富士河口湖町議会定例会が9月6日に開会し会期を16日間と決めて9月21日に閉会しました。

本定例会に提出されました議案については、次のとおりです。

報告2件、条例の制定2件、補正予算11件、財産の取得1件、請負契約締結1件、同意案件5件、請願1件、決算認定33件を審議し、すべて原案のとおり可決、承認されました。

決算認定については、平成27年度一般会計及び32の特別会計について、議会選出の監査委員を除く17名の議員で構成された決算特別委員会を設置し、9月8日から14日まで審議しました。

また、会派による代表質問と2人の議員から一般質問がありました。詳細は、8~11ページをご覧ください。

報告…………(2件)

◆平成27年度決算に基づく財政健全化判断比率等の報告

富士河口湖町	平成27年度	平成26年度	比較	要因
実質公債費比率	9.8%	11.0%	△1.2%	公共企業債の元利償還金に対する繰出基準額が減少した。
将来負担比率	56.3%	65.5%	△9.2%	公営企業等への繰入見込額の減少と、公共施設建設基金の積み立ての増による。

※実質公債比率とは、公債費（借金返済費用）を含む返済金合計がどれだけ財政に負担をかけているかを表す指標です。

※将来負担比率とは、自治体が将来支払う可能性がある負担合計が一般会計に占める比率です。

◆平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

地方教育行政に関する法律の規定により見出しの事務の点検及び評価を実施し、その事業の評価や課題を毎年議会に報告するもので、効率的な教育行政を推進するとともに、これを町民に公表するものです。

詳細については、町ホームページをご覧ください。

町ホームページ <http://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/>

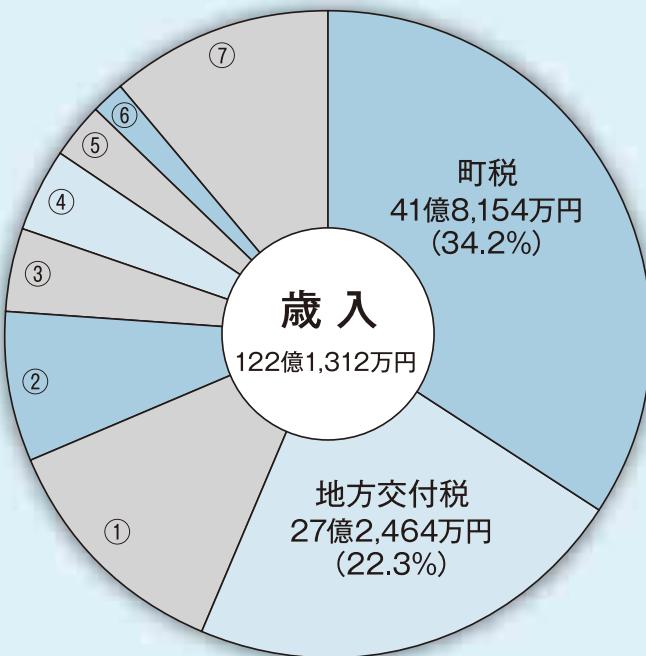
こういいうことを
決めました!

平成28年 第3回富士河口湖町議会

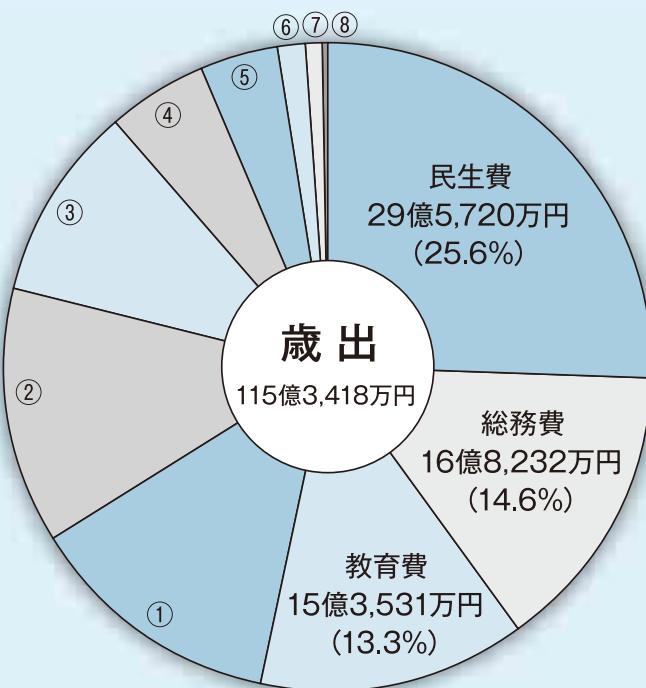
平成27年度一般

平成27年度 一般会計決算の内訳

- ①町債（町の借金）
14億9,180万円 (12.2%)
- ②国庫支出金（国の負担金や補助金など）
9億2,110万円 (7.5%)
- ③地方消費税交付金
5億2,709万円 (4.3%)
- ④県支出金（県の負担金や補助金など）
4億8,567万円 (4.0%)
- ⑤繰入金（基金、財産区などより）
3億4,142万円 (2.8%)
- ⑥繰越し金
1億8,986万円 (1.6%)
- ⑦その他
13億5,000万円 (11.1%)



- ①公債費
14億7,695万円 (12.8%)
- ②衛生費
14億5,346 万円 (12.6%)
- ③土木費
11億2,696万円 (9.8%)
- ④商工費
5億8,062 万円 (5.0%)
- ⑤消防費
4億6,277 万円 (4.0%)
- ⑥農林水産業費
1億3,981万円 (1.2%)
- ⑦議会費
1億122万円 (0.9%)
- ⑧諸支出金
1,756万円 (0.2%)



差引残額 6億7,894万円

平成28年 第3回定例会

補正予算…………(11件)

◆平成28年度富士河口湖町一般会計補正予算(第4号)及び(第5号)

歳入歳出予算の総額に、補正予算第4号及び第5号併せて1億4,787万円をそれぞれに追加し、歳入歳出それぞれ12億430万円とする。

〈主な歳入〉	〈主な歳出〉	
・国庫・県支出金等	△1,265万円	
・繰越金	1億4,162万円	
・町債	1,720万円	
◆そのほか、9の特別会計補正予算を審議。		
	・後期高齢者医療連合会負担金	4,000万円
	・こども医療助成金	3,982万円
	・道路舗装修理工事費等	1,460万円
	・町道拡幅改良工事費	1,150万円

条例の制定…………(2件)

1 富士河口湖町営住宅小立団地管理条例

町営住宅小立団地の管理に必要事項を定める。

2 富士河口湖町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員及び新設された農地利用最適化推進委員の報酬額を定める。

財産の取得…………(1件)

1 雇用促進住宅河口湖宿舎土地・家屋の購入

契約金額:4,623万円

契約の相手:独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構



町営住宅小立団地(旧雇用促進住宅)

請負契約締結…………(1件)

1 富士河口湖町立船津保育所建設工事請負契約

契約の方法:一般競争入札

契約金額:8億4,078万円

契約の相手:加取・梶原工業所富士河口湖町立船津保育所建設工事共同企業体



こういうことを決めました!

請願……………(1件)

1 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

請願者:南都留地区PTA協議会長 会長 飯高 明夫 外3名

紹介議員:井出 正広 小佐野 快 外川 満

内 容:義務標準法が改正され、子どもにていねいな対応を行うためには、学級規模を引き下げる必要がある。

また、授業時数や指導内容が増え、生徒指導への課題など特別な支援を必要としているので、地方交付税を含む国における教育予算の拡充を要望する請願。

審議結果:全員賛成で採択

同意案件……………(5件)

1 富士河口湖町農業委員会委員の任命の同意

現委員の任期満了に伴い、新たに14人の委員の任命に同意。

ほか、議員役職等の4件に同意しました。新議員役職は、3ページをご覧ください。



第3回臨時議会

◆平成28年第3回臨時会が8月3日に開会し、次の案件を審議し原案通り可決し、同日閉会しました。

財産の取得……………(2件)

1 船津分団消防ポンプ自動車購入

(800ℓ水槽・圧縮空気泡消火装置搭載型)

契約金額:3,477万円

契約の相手:有限会社 中村ポンプ工作所

2 富士河口湖町第3号源泉揚湯ポンプ設置

契約金額:1,782万円

契約の相手:株式会社 萩原ボーリング



請負契約締結……………(2件)

1 富士河口湖町立船津保育所外構工事請負契約

契約金額:5,346万円

契約の相手:有限会社 上田屋商会

2 勝山地区公民館新築工事請負契約

契約金額:1億584万円

契約の相手:フジコンストラクト株式会社

代表質問

代表質問者
三浦 康夫

質問Q
答弁A
観光課長
世界遺産にふさわしい地域づくりに向け、将来の観光ビジョンと地域振興についてどのような考えを持っているか。

質問Q
答弁A
観光課長
観光振興は、富士山の景観や歴史文化を後世に伝え、国・地域・民間が歩調を合わせていくことで、より大きな成果をあげることができると考えている。

質問Q
答弁A
人材育成として北稜高校のような地域就職率の高い高校へ実践的な学習の場を提供する考えは。

質問Q
答弁A
観光課長
各学校からの要請に応じてインターーンシップを受けている。北稜高校は定員二八〇名のうち二五名が削減されている。地元就職率が高いことからも県に定員確保の要請をすべ

将来の観光ビジョンと地域振興策は

質問Q
答弁A
観光課長
世界遺産にふさわしい地域づくりに向け、将来の観光ビジョンと地域振興についてどのような考えを持っているか。

質問Q
答弁A
都市整備課長
自然環境保全の観点から大規模開発の抑制をすべきではないか。

質問Q
答弁A
都市整備課長
開発面積三〇〇〇m²を超える大規模開発や周辺に影響を及ぼす恐れのある重要な開発行為は、土地利用審議会で審査をしている。

関連質問 渡辺 正己

質問Q
答弁A
観光課長
インバウンド観光の増加を受けて、民泊に対する町の考え方は。

質問Q
答弁A
観光課長
民泊を行うには旅館業法の簡易宿泊所の営業許可を取る必要がある。国も新たな制度を検討している。

関連質問 井出 正広

質問Q
答弁A
観光課長
レンタル自転車の道路交通法の周知さらに保険の加入は。

質問Q
答弁A
観光課長
自転車への道交法の周知は、町HPやチラシで行つており、

きではないか。
答弁A 教育長 北稜高校は二四〇名まで減ったことがある。富士河口湖高校も二四〇名の定員が二〇〇名まで削減されている。関係諸団体とも連携して、県に定員確保の働きかけを積極的に行つていく。

外国の方の利用については事業者を通じて周知している。保険加入は、事業者の判断にゆだねる部分が大きいが、今後検討していく。

関連質問 高山 泰治

質問Q ツエルマットには登山鉄道があった。ロープウェイや登山鉄道などを検討すべきでは。

質問Q
答弁A
町長 富士山の保全に向けた国家的なプロジェクトになると思う。国がどのような考え方で取り組むのか興味を示していきたいと考えている。

基本計画について

質問Q
答弁A
環境課長 一般廃棄物処理基本計画はあるが、ゴミの減量と今後の対策は。

質問Q
答弁A
環境課長 値を上回っている。家庭系は、堆肥化などによる削減を続けていく。事業系のゴミは、処理費の負担を再度お願いすることも検討している。

質問Q
答弁A
町長 ホテル建設ラッシュから、事業系のゴミも増加することが予想されるが。事業系ゴミの有料化については、事業者の方々との話し合いの場を持ち、同意が必要と考えている。

関連質問 渡辺 元春

関連質問 高山 泰治

都市整備課長 既存の各種制度の活用により行っている。

質問 Q

昨年度の可燃ごみの処理費は一・八億円。施設償還金一・九億円。家庭ごみの回収費を合わせると約五億円で、一般会計予算の5%近くになっている。有料ゴミ袋が二一〇〇万円あるが、これはほとんどが家庭の方が購入している。事業系のゴミとの不公平感が強い。

質問 Q 事業系のゴミの課題についてこれまで質問してきた。昨年一年の取り組みは。富士吉田市を参考に準備をしている。

答弁 A

環境課長 県内の自治体の有料化の状況などを調べたほか、委託している。

答弁 A

西湖、根場、精進の三地区同時進行でという話をしたことがあつたが、西湖・根場地区を先行するということで進めている。これまで町、県の役割などを協議してきた。地域でもアンケート調査を行つたが、地域の総意がまとまらない状況もある。県の示すハードルも高いので、改めて地域の協議会等でも話し合いたいをしたい。

関連質問 渡辺 美雄



家庭系のごみ収集状況

安心安全のまちづくりについて

答弁 A 質問 Q 関連質問 渡辺 正己

答弁 A 環境課長 そこまでは把握していない。

ゴミ収集車すべてに計量器が付いているのか。

質問 Q

答弁 A これまでゴミ袋が二一〇〇万円あるが、これはほとんどが家庭の方が購入している。事業系のゴミとの不公平感が強い。

質問 Q 住環境整備は安全安心のまちづくりの基本になる。住環境に対する今後の方針は。

関連質問 渡辺 元春

関連質問 高山 泰治

都市整備課長 既存の各種制度の活用により行っている。

質問 Q

西湖・根場の移住地は、建設後約五年を経過した。県有地の払い下げに取り組まなければ、建て替えの促進にはつながらないが、移住地払い下げの進捗状況は。

答弁 A

総務課長 西湖、根場、精進の三地区同時進行でという話をしたことがあつたが、西湖・根場地区を先行するということで進めている。これまで町、県の役割などを協議してきた。地域でもアンケート調査を行つたが、地域の総意がまとまらない状況もある。県の示すハードルも高いので、改めて地域の協議会等でも話し合いたいをしたい。

答弁 A

町長 質問 Q 足和田災害から五十年が経過するが、災害後に危ないからと移住を余儀なくされたのが実情です。県の考え方や諸般の情勢もあるが、地域の実情に目を向けて特段の配慮をお願いしたい。

答弁 A 地元の総意が取れていないうとや、県の示す土地単価などの課題もある。県は、町に払い下げをするので町から個人へ払い下げをという指導もある。地元の要望に応えるように取り組んでいく。

一般質問



質問 Q バス路線から遠い地域などでは、公共交通機関の充実が求められている。南アルプス市などで実施している高齢者などへのタクシー代補助は、買い物などを利用でき、地域経済の活性化にもつながる。障害者などに交付されているタクシー券を、高齢者などに対象を拡大して実施を。

答弁 A 福祉推進課長 公共交通機関が町内全域に行き渡っていない現状を解決しなければならない。しかし、予算面での課題に加え、タクシー利用が困難な地域もある。タクシー代補助が可能かどうか検討する。

高齢者などに
タクシー代補助を

一般質問者
山下 利夫



質問 Q タクシー利用が困難な地域では、デマンド交通（予約制の乗り合いタクシーなど）の検討も必要だ。

答弁 A 政策財政課長 予算面の課題などにより実施は難しい。

町営住宅移転は
柔軟な対応を

質問 Q 今年10月に町営住宅北八津団地を小立の雇用促進住宅に移転する計画だが、7月の居住者訪問で初めて移転の話を聞いた方もいる。十分な説明と協議を。また、十分な猶予期間を設けるなど柔軟な対応を。

答弁 A 都市整備課長 9月8日に居住者説明会を行う（実施ずみ）。来年3月までの猶予期間を設けている。

「ベル」から変電所までの
通りに横断歩道を

質問 Q ショッピングセンターベルから変電所までの通り（登山道線）には、保育所入口に横断歩道があるのみで、もう1つ設置してほしいという声がある。船津地域振興協議会で視察も行い、町として警察に要望していると思うが、進捗状況は。



町として横断歩道設置の要望を提出した交差点

答弁 A 都市整備課長 昨年、警察署の指導にもとづき、横断歩行者数と車両通行量の調査を行ったのち、富士吉田警察署に横断歩道設置の要望を提出した。現在は、県公安委員会に要望があがっており、その回答を待っているところだ。

質問 Q 介護支援ボランティア ポイント制度の導入を

5年前に提案しているが、この制度は、65歳以上の方が介護支援に関するボランティア活動を行い、実績に応じて換金可能なポイントを付与する制度。介護保険料を実質的に軽減し生きがいを創出すると言われている。この制度で効果をあげている自治体も多い。我町でも導入すべき。

答弁 A 健康増進課長 町内で同制度を実施するに当たっては、各地区に地理的な特徴があり、高齢化率や要介護認定率、介護サービス事業所の所在やサービス提供地域の差、交通機関等の環境の違いがある。これらの問題にかかわりなく実施でき

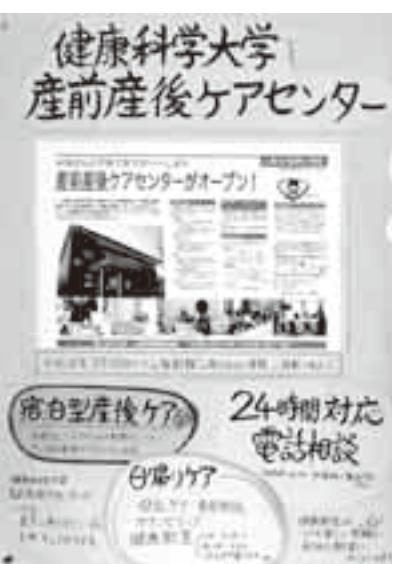
一般質問者 佐藤 安子



産後ケアの充実を

る事業に置きかえたものを検討しながら、この制度についても導入の可能性を探つてみたい。

ツで説明するなど、いろいろな機会を通じて周知に努めている。また、山梨県助産師会では、有料でお助け訪問助産師という事業を展開している。この周知も図つてみたい。



質問 Q 笛吹市に開所されて半年の健康科学大学産前産後ケアセンター「ママの里」を見学してきた。産後ケアは、4ヶ月までが対象で、3泊4日助産師の指導を受けながら、産後の疲れを癒やし、ゆっくり子育てできる。当町の産後ケアの状況と、この施設のどのように活用していくのか。また、利用料の公費負担を検討してはどうか。

答弁 A 健康増進課長 当町では、産前産後の定期的な訪問を通じて、母子の精神的、身体的な健康状態の確認をしていく。また、里帰り出産には、先方の自治体と連絡をとりケアに努めている。この施設の活用は、母子手帳交付時に案内パンフレットで説明するなど、いろいろな機会を通じて周知に努めている。また、山梨県助産師会では、有料でお助け訪問助産師という事業を展開している。この周知も図つてみたい。

食品ロス削減に向けての取り組みを

質問 Q 食べられる状態なのに捨てられる食品ロスは、家庭やスーパー、ホテルやレストランなど、あらゆるところで見受けられる。そこで、家庭での食品在庫の管理や食材の有効活用、宴会の乾杯後30分と終了前10分は自席で食事を楽しむ「30・10運動」など、飲食店等における、残さず食べる運動や持ち帰り運動の展開など、自治体、町民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けての取り組みが重要であると考ええるが。

答弁 A 健康増進課長 当町は食品ロスの削減の意識が薄いような状況である。消費者庁でも食品ロス削減を呼びかけるリーフレットを作成しており、町民の方々の食品ロス削減意識の高揚に努めていきた

この繰越額については、多額を計上するのか、一部を基金とするのか、今後どういふ方向がいいのかを事務局のほうでも調整をさせていただきたい。

この繰越額については、多額を計上するところもあり、毎年繰越額が減つていています。

質問 Q 財産区の収支については、多額の繰越金が毎年計上されており、単年度収支では黒字となっている。今後、財産区の安定運営を行っていくための所見を伺う。

答弁 A 総務課長

財産区の収支については、多額の繰越金が毎年計上されており、単年度収支では黒字となることがあるが、実質収支では赤字となることがあるが、実質収支では黒字となっている。今後、財産区の安定運営を行っていくための所見を伺う。

今後の財産区の安定運営は



町内の簡易郵便局の受託料の計算法は

質問 Q 小立と富士ヶ嶺簡易郵便局の郵便窓口業務受託事業取扱手数料については、どのように計算されるのか。

答弁 A 総務課長 受託業務というものは、郵便局でやっているような郵便業務、

保険業務、貯金業務、為替業務等の取扱量が多いほうが受託料も多いという状況である。

答弁 A 住民課長 入院、入院外、調剤、全ての医療費が伸びている。その中で、特に入院医療費が伸びている。

国民健康保険税引下げの検討を

質問 Q 国保会計は非常に苦しい状況ではあるが、当町は苦しい中でも黒字ですと推移している。一世帯1000円でも国保税の引き下げを検討してほしい。

答弁 A 町長 国保税の減額については、7割、5割、2割というような減額制度を設けている。また、一般会計からの繰入金は、国保に対しては2億2600万円

繰り入れをしている状況なので、今後においては減額制度を利用してほしい。

河口湖治水組合で湖底清掃委託している場所は

質問 Q 委託料の湖底清掃委託について、河口湖のどの辺の湖底を清掃しているのか伺う。

答弁 A 総務課地域係長 湖底清掃費ということで年に2回行われており、場所

については、勝山の富士ビューホテル先の岬に鐘の鳴るスポットのところの清掃を行つた。

国保会計の医療費の増加原因は

質問 Q 国保会計の医療費が7000万円増加しているが、どこが伸びたのか。

答弁 A 水道課長 ここ数年それほどの変化ではなく、急激な増額はない。今後も同様に推移して行くのでは。

温泉使用料の滞納状況

質問 Q 27年度の温泉使用料の滞納繰越分は17・54%だが、ここ二、三年の推移から今後の予想は。

答弁 A 水道課長 ここ数年それほどの変化

決算特別委員会

27年度ふるさと納税の実績

質問
Q

27年度の実績が2億2000万円、
謝礼品が半分の1億1000万円と

いうことで、地域の特産品等の消費拡大につながっているが、主な謝礼品は。

答弁
A

政策財政課長 地ビール、当町で使
える宿泊クーポン券、ミネラルウォ

ーターが、上位3品となっている。

FMふじやま・開局一年

質問
Q

27年度のFMふじやまへの補助金1
20万円は毎年継続の予定か。

答弁
A

政策財政課長 開局に当たつての運
営補助で、今後続ける予定はない。

質問
Q

補助金はその成果が問われる。補助
金の目的は防災、観光など、多分野

にわたって町民の住環境の向上につなが
ることだが、開局1年、この成果に対する所
感は。

答弁
A

町長 当初、株主にという話もあつ
たが、いくつかのリスクを考え開局
に当たつての補助金とした。私も何度もか
出演し、観光事業、行政事業においてそれ
なりの効果があつたと思う。

地方交付税の増加

質問
Q

地方交付税が前年度比約1億350
0万円の増額だが、その主な要因は。

答弁
A

政策財政課長 普通交付税は、支所
経費の算定や人口減少対策費等で基
準財政需要額が約1億3500万円の増

額、一方、収入が増えたことで基準財政收
入額は約7000万円の増額、差引き65
00万円の増額。特別交付税は、単年度だ
が日赤への補助として9000万円の増額
になる。

地域おこし協力隊の活躍

質問
Q

地域おこし協力隊の決算額が約80
0万円になる。精進と本栖で活動さ
れているようだが。

答弁
A

政策財政課長 2名とも精進湖活性
化協議会への参加、本栖湖未来プロ
ジェクトの立ち上げ等行ない、地域に密
着した活躍をしている。地域新聞の発行
や、SNSで町全体の情報発信を行つてい
る。

青パトの効果は

質問
Q

以前に比べ不審者等の話しを聞かな
い。一定の効果があつたと思うが、
約560万円の経費の費用対効果は。

答弁
A

税務課長 影響はないと考える。

総務課長

の業務だが、2名で8時までのパト
ロールは非行防止対策や農作物の盗難防止
にも一定の効果がある。

質問
Q

パトロール以外、登下校時に少し危
険な場所での旗振りや見送りができる
ないものか。

答弁
A

総務課長 広範囲に渡るため青パト
での対応はなかなか難しいのでは。
別の方法で考えて行くことだと思う。

家庭用の避難テント購入

質問
Q

避難テントを150基購入したが、
どのようなタイプのものか。

答弁
A

総務課長 前回も購入した家庭用の
タイプで、150基購入した。各避難

税の滞納への対応は

質問
Q

税の滞納があつた場合、早めに相談
し、分納や減額措置などの対応を適

切に行つていくことが大事だ。

答弁
A

税務課長 事例に応じて相談して進
めていく。

質問
Q

前納報奨金が廃止になつたが、徴収
率への影響は。

質問Q 固定資産税の不納欠損額が現年度分で3000万円以上あるが、なぜか。

答弁A 税務課長 38件の企業の倒産等によるものである。

質問Q 町民のふるさと納税により、当町の減収となつた額はいくらか。

答弁A 税務課長 平成27年のふるさと納税において、平成28年の課税における寄付金控除額は866万円である。

女性や若者が健康に過ごせる町に

質問Q ようこそ赤ちゃん事業（不妊治療助成）の平成27年度の実績は。

答弁A 健康増進課長 32人の申請があつた。

質問Q 平成27年度の乳がん、子宮頸がん、子宮がん検診の受診率は。

答弁A 健康増進課長 乳がんは30歳以上の方を対象として14・1%、子宮がんは20歳以上の方で7%、子宮頸がんは7%である。

質問Q 20歳から39歳、75歳以上の方の基本健診の受診率は。

答弁A 健康増進課長 それぞれ3・9%、6・8%である。

放課後児童クラブ

質問Q 平成27年度に利用料金を導入したが、その後の活用状況はどうか。

答弁A 福祉推進課長 以前に比べて若干減った。

質問Q 利用料金を徴収する以上、内容の充実と体制の強化を求められるが、その内容を伺う。

答弁A 福祉推進課長 船津・小立については指導員を増加、又時々利用したい方の使用を可能とした。

粗大ゴミ

質問Q 事情により自宅までの粗大ゴミ回収は喜ばれている、利用状況は。

答弁A 環境課長 昨年度は、15件の申し込みがあつた。

文冠果の現状を聞く

質問Q 去年実験農場へ植えた文冠果の現状は。

答弁A 農林課長 合計100本の文冠果は、当初30センチから現在60センチに成長している、今後5年から6年をかけて別の検証を行う。

きれいな公衆トイレを

質問Q 公衆トイレの整備状況は。

答弁A 観光課長 和便を洋便等に改修、又看板の設置等も進めている。

先導的官民連携支援事業

質問Q 船津浜の調査の内容を伺う。

答弁A 観光課長 国の補助金を頂く中、山梨県と合同で協議を開催し、有効に整備出来るよう調査に入つた。

商工振興費

質問Q 商工振興資金10万円の限度額をもつと上げてほしいと思うが、利子補助金の利用状況を伺う。

答弁A 観光課長 平成27年度の実績で事業所が129件・539万であり、前年度より9件減となつていて。

決算特別委員会

電柱の移転費用

質問Q 個人の敷地にある電柱を移転する場合は無償だが、町で道路の拡幅工事をする場合は有償となるのは納得できない。

答弁A 都市整備課長 質問の通り、現状は移転費用を町で負担している。

特色ある学校教育の中で

質問Q 小中学生の富士登山は郷土愛を育むため始めた経過があり、応募定員に達しないのは非常に残念だが参加者数は。

答弁A 学校教育課長 中学生20名小学生を10名募集したが再募集の結果、小学生13名中学生7名の参加があつた。

質問Q 小学校3年から6年生までデジタル教科書が導入されたが。
答弁A 学校教育課長 27年度に科目が算数と理科のデジタル教科書を導入した。
質問Q 船津小学校からタブレットを始め導入されているのか。

答弁A 学校教育課長 タブレットを使用する基礎的な条件の無線LAN工事が終わり、全校校、特別支援の教室では無線LANでつながるようになり、タブレットも小学校が105台、中学校は23台が設置されている。

不登校児の対応は。

質問Q 答弁A 27年度の就学援助率は、り、スクールソーシャルワーカーが聞き取り調査、学校や児童相談所と協議をしながら対応をしている。

質問Q 答弁A 27年度の就学援助率は、

質問Q 答弁A 学校が76名、小学校比で5・4%、中学校比が16名で7・4%となっている。

くぬぎ平のサッカー場の管理料は

質問Q くぬぎ平のサッカー場の維持管理料410万円とサッカー場の収入36万円、その内容とサッカー場の収入内訳は。

質問Q 生涯学習課長 維持管理費で主なものは芝のサッカー場の草を刈り施肥を行うなど芝の管理費です。メインサッカーフィールドの使用件数が年間43件で利用者数が6870人、サブサッカー場の件数が32件で4896人となっている。

質問Q サッカー場の維持管理費に比べて収入は少なすぎるが。

質問Q 生涯学習課長 オリンピック、パラリンピックの誘致などの関係を絡めた中で使用料の見直をしていく。

非常に貴重な自然環境を守るために

質問Q 答弁A NPO法人富士山自然保護センターに委託し世界遺産富士山の自然を守るために貴重な絶滅危惧種等のチョウとか昆虫等の調査をしている。

質問Q 答弁A 今年の実質公債費率は9・8%で、5年前の平成22年度は14・6%で4・8%の改善が図られたが、地方債の発行について県の許可が必要となる18%や、早期健全化基準の25%等から考慮すると、数字だけでは判断がしづらいので、他の自治体と比較するとどうなのか。

質問Q 答弁A 政策財政課長 全国に134団体、当町の平成26年度の実質公債費率は11・0%で134団体中、高いほうから25番目となっている。県内では高いほうから8番目となる。県内の平均が26年度は10・0という数値であり、実質公債費率を初めとした財政指標は、事業実施により数値の上昇は避けるが、それはコントロールしながら、住民の利便性、快適なまちづくりを図る。



富士河口湖町友好都市

—スイス・ツェルマット— 交流訪問報告

マッターホルン



日程は次のとおりです。

一 日 目 (七月二十一日)

スイス・チューリッヒ空港から、専用バスでスイスの世界文化遺産の都市でもある首都ベルンへ移動し、中世から近世にかけての建造物群や石畳の通りのある旧市街を観察しました。

二日目(七月二十二日)

首都ベルンから、友好都市のツェルマットへ移動しました。

途中、風光明媚なニーダホルン展望台を経て、ゴンドラカー等を乗り継ぎ、スイスの代表的な湖トゥーン湖を定期船によりインターラーケンへ渡った後、バスごと乗車するカートレインによりアルプス峠を越えてテーシュまで行き、そこから目的地のツェルマットに向かいました。

夜は、地元のゴッタルド鉄道主催のレセプションに出席し、関係者等と懇親を深めできました。

三日目(七月二十三日)

ツェルマットから、ヨーロッパ最高地点にあるゴルナーグラート鉄道により、標高三〇八九mのゴルナーグラート展望台まで上りました。あいにく出発時点では、悪天候でしたが、しばらくすると雲がはれ、展望台からマッターホルンや、四〇〇〇m級の山々の絶景を展望することができます。

今回の訪問で得た見識を、議会人として本町の基幹産業である観光や環境に活かしていきたいと思います。

この友好都市の締結時の村長・観光局長等の来訪に対する返礼のため、町を代表する訪問団として今回ツェルマットに赴き、友好都市提携の記念碑の除幕式へ公式参加してきました。

ほか、各家庭のバルコニーなど、町の至る所に美しい色とりどりの花々が飾られ、町全体で観光客を迎えていた街づくりなどを観察してきました。

今回の訪問で得た見識を、議会人として本町の基幹産業である観光や環境に活かしていきたいと思います。

また、展望台に建つ山岳ホテル、クルム

その後、標高一五〇〇mに建つ村営の山岳ホテル、リッフェルハウスを視察した後、ツエルマットに戻り、村内にあるねずみ返しのある小屋や、登山家の眠る墓地ほか、エアーツエルマット山岳救助隊のヘリコプター等を視察しました。

夕方、ツエルマット友好都市提携の碑の記念除幕式が、村内の公園において行われました。あいにくの雨となりましたが、本町からは記念品として日本の鎧兜が贈呈されました。また、この記念碑の隣には、ツエルマットと姉妹都市である新潟県妙高市の記念碑と、京都のツエルマット会との友好記念碑が並べてありました。

夕食は、スネガ展望台において、ツエルマット村主催による会食が行われ、村長らと親交を深めて来ました。

四日目（七月二十四日）



ホテル・ゴルナーグラートを視察し、帰りにリッフェル湖で、湖に写る逆さマッターホルンを見学しました。

ら、専用バスに乗り換えてチューリッヒに移動し市内見学をしました。

五、六日目 (七月二十五日、二十六日)



最後に、ツエルマットとの友好がこれらも長く続き、子ども達を始めとして多くの町民が交流することを期待しております。

スイス・ツエルマットの概要

ツエルマットは、スイスのマッターホルン山麓にある自治体。

スイス・アルプスの登山やスキー場でよく知られている。ツエルマットの人口は、二〇一六年二月現在、五六二五人。地域経済のほとんどは、観光業に依存しており、町の職業の約半数は、ホテルまたはレストランで、全てのアパートのほぼ半数は、休暇アパートである。常住人口の三分の一は、町の出身だが、スイス国外からツエルマットへ移住する者もいる。

●観光

観光資源から出た利益を地域内で循環させる仕組みが出来上がっており、住民も積極的にこれに参加している。こういった観光クラスターが発展している。

年間宿泊数は、約二〇〇万泊で、その内日本人は、第五位の約六万三〇〇〇泊している。

●環境・交通

町の良好な視界の妨げの原因となる大気汚染を防ぐため、町全域で、内燃機関を搭載した自動車の乗り入れが、一九八六年から禁止されている。自動車のほとんどは、電気自動車であり、騒音もない。救急車両や自治体のバス、ゴミ収集車は内燃機関の使用が許されている。

また、馬車も存在し、ホテルで運営するものや、借りられるものもある。

ゴミや景観に関する厳しい条例があり、標高二〇〇〇m以上にある展望台までも、村内のホテルと同様に上下水道やごみ処理施設が完備されている。

富士河口湖町に伝わる方言について



小立西区長
大石郁夫

「いきや
りするよう
に、たまに
はいきおう
べえ」と言
われたら、
あなたはわ
かりますか?

あります。
世界中には色々な言葉があります。一
つの意味の言葉でも言い方は別々で本当
に難しいものです。

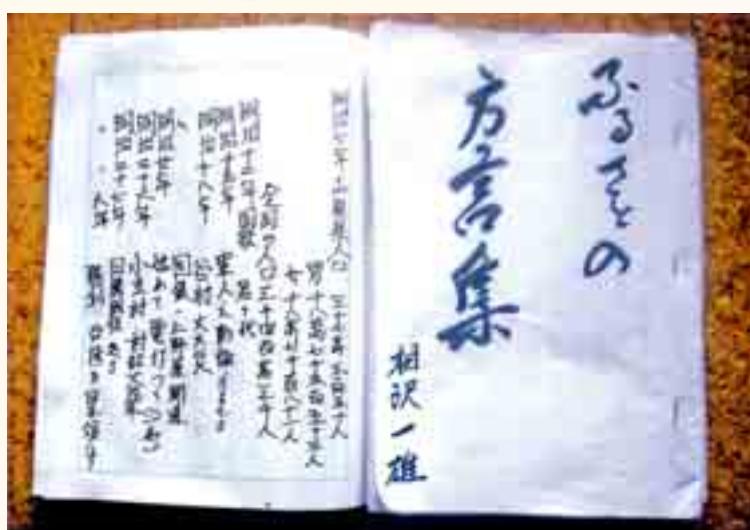
その中の一つ、日本語をとつても標準
語はあるとしても、方言は様々で聞いて
いても全くわからない言葉もあり、困る
時があります。こちら辺でも鳴沢言葉、
大石言葉、吉田言葉等、独特的の言い回し
があります。

今回は小立言葉の話になりますが、西
区に小立周辺の歴史言葉を研究してい
る、まもなく百才になろうとしている元
気な相沢一雄さんという人があります。以
前から区の公民館に、現在語と方言の違
いをノートにまとめて置いてくれてあり
ました。今年新たに追加もあり、ノート
を預かりました。これは方言の宝物だと
思い町に相談し、梶原教育長、林区長の
外川一さんの協力で本にしてもらい町立
図書館に置いてもらうことになりました。

今回たまたま、こういう機会があり、
地域の声を町に届ける事ができて本当に
良かったと思います。

最初に書いた言葉の意味は、「楽しむ
様に、たまには集まろうよ」という意味
です。「ささらほうきら」「らんごく」
「ええしらう」???

皆さんも一度手にとつてみて下さい。
『湖南方言集』というタイトルで出てい
ます。ひととき時の流れを感じてもらえ
ればと思います。



議会を傍聴しませんか?

次の定例会は12月です

どなたでも傍聴できます。
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。

編
集
後
記

	●議会広報常任委員会
駒谷	井出
堀内	小佐野
隆利	正登
井出	渡辺
渡辺	利夫
元春	武則
副委員長	山下
委員長	渡辺
委員	渡辺
●議会広報常任委員会	(井出正広)

平成27年度決算特別委
員会では皆さんの税金が
どのように使われたか審
議され、その内容を出来
るだけわかりやすくま
めました。会派の代表質問や一
般質問では町民の皆さん
が聞きたい事、知りたい事
を皆さん代表として質
問していますので、ぜひ
ご意見をお寄せ下さい。

会だより」9月6日か
ら21日まで開催された平成
28年9月定例議会が主な
内容です。さて今回お届けする「議
会だより」9月6日か
ら21日まで開催された平成
28年9月定例議会が主な
内容です。さて今回お届けする「議
会だより」9月6日か
ら21日まで開催された平成
28年9月定例議会が主な
内容です。

富士ヶ嶺地区ではフーア
や河口湖畔ではもみじマ
ーチが、町内各地で秋の
イベントがめじろ押し、
いよいよ11月からは紅葉
祭りが始まります。